

コロナ禍の今だからこそ開催を諦めない！

「やってみるしかない」から始まった 多職種参加の研修会



新見市在宅医療介護連携支援センター

まんさく

難波美保子

あ～ 困った！ (-_-;)🍵

- ・ 今までのような研修会は開くことができない！
- ・ 「他の団体等も研修会は中止や延期をしている」
- ・ 「安全策を取らないといけない」
- ・ 「せっかく他（多）職種の人たちと顔見知りの関係になりつつあったのに残念だなあ」

多職種のネットワークメンバーが背中を押してくれた

- ・ リモート会議（担当者会議など）が少しずつできるようになっている。これを研修会に使わない手はない
- ・ **みんなリモートに慣れていない者ばかり。考えるより先にやってみようよ！**



令和2年度 第1回多職種連携会議・人材育成研修会

開催日	種類	テーマ	講師	開催時間	形態	会場	参加者数
9/24	リモート座談会	ざっくばらんにテレビ会議で会話してみよう！	MSW まんさく	18:30～ 20:30	リモートのみ	本部会場+リモート (ケアキャビ)	本部会場12名 (スタッフ,見学者) リモート27名 計39名

【開催にあたり工夫した点】

- ・ 開催一週間前に予行演習 ・ 参加者全員とやり取り
- ・ 携帯電話でいつでも相談を受ける
- ・ 音声伝達だけでなく、フリップも利用

【アンケートより】

- ・ これからは、リモート研修が必要だ
- ・ 主催者も参加者もオンラインに慣れていくことが大切
- ・ 会場を2～3会場に分散してはどうか
- ・ 画面では顔がよく見えないし、多職種と交流できないのはさみしい

【課題】

- ・ 電波状況の改善の検討 ・ 音声調節できない人が多かった
- ・ リモート参加だけでは参加者が限定される。
- ・ 主催者側も不慣れ ・ 顔が見えにくく、交流ができてにくい

【対応策】

- ・ 会場参加とリモート参加のハイブリッド方式をとる
- ・ 会場分散と会場の人数制限 ・ 通信環境の整備 ・ 主催者側も慣れる
- ・ 事前のマイク・カメラ調整 ・ 事前に質問・意見の聴取

令和2年度 第2回多職種連携会議・人材育成研修会

開催日	種類	テーマ	講師	開催時間	形態	会場	参加者数
12/15	講演	糖尿病について	医師	18:30～ 20:30	ハイブリッド	3会場+リモート(ケア キャビ)	会場52名 リモート20名 計72名

【開催にあたり工夫した点】

- ・ 初のハイブリッド開催に挑戦 ・ リモート参加事業所すべてと最初にやり取り
- ・ あらかじめ質問を募集しておく
- ・ 講演後、会場参加者とリモート参加者でディスカッション

【アンケートより】

- ・ 88%の人が、今回のようなハイブリッド方式を支持 ・ 音声聞き取りにくいところがあったが、前回より良くなっている
- ・ オンライン研修に慣れていけるような企画があるとありがたい
- ・ 参加者同士の交流を深めていけると良いと思う

【課題】

- ・ オンライン研修に慣れることができ、参加者同士の交流ができる企画を
- ・ グループワーク(GW)について～オンラインのみの開催ならGWができるが、現状では会場でのGWは困難と思われる
- ・ 進行とパソコン操作兼務は難しい

【対応策】

- ・ 小規模なりモート研修を新たに企画 ・ 認知症の研修会ではGWをしたいが、
- ・ 時節柄今年度はやらずに様子を見る ・ 進行係とパソコン操作担当者を分ける

新たに

多職種小規模リモート研修を企画

開催目的

- ①顔の見える関係づくり
- ②発言のできる研修
- ③他(多)職種のことを知る
- ④Webツールの操作に慣れる (参加者・主催者)
- ⑤ケアキャビネットの利用啓発

開催方法

- ① 10人程度でのリモート会議形式の研修
- ② ディスカッションをメインに
- ③途中に操作説明をしながら、置き去りにしない

初めての多職種小規模リモート研修

開催日	種類	テーマ	開催時間	形態	参加者数	参加職種
3/18	ディスカッション	コロナ禍のストレス 解消	13:30~ 14:30 (1時間)	リモートのみ	6事業所 11名参加	病院相談員,通所介護職員, 訪問介護職員, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員

【開催にあたり工夫した点】

- ・画面の顔が良く見えるよう6事業所限定とした
- ・参加しやすいように時間内と時間外の2回を計画
- ・発言してもらおう
- ・初回なのでテーマを簡単なものに

【アンケートより】

- ・顔が見えて話ができる
- ・身構えずに参加できる
- ・思ったより簡単だった
- ・他職種と色々な情報を共有したい
- ・音声途切れたり、ハウリングの問題さえ解決すればとても良い
- ・タイムリーな話題についてディスカッションができる
- ・全員が「またあれば参加したい」

【課題】

- ・不慣れなため、マイク音量の事前調整ができない参加者がいる
- ・業務時間内だったので、本部施設内の電波状況が悪かった

【対応策】

- ・次回より電波状況の安定している勤務時間外に開催する
- ・音声の事前調整の仕方のパンフレットを作る
- ・参加者数は画面で顔が良く見える範囲（10人程度）で継続

令和2年度 認知症研修会

開催日	種類	テーマ	講師	開催時間	形態	会場	参加者数
3/8	講演 取組紹介	認知症 と取組 紹介	医師 認知症地域支援推進員 社協職員	18:30～ 20:30	ハイブ リッド	2会場+リモート (ケアキャビ)	会場31名 リモート19名 計50名

【開催にあたり工夫した点】

- ・ 第2回での経験を生かしてハイブリッド方式で開催

【アンケートより】

- ・ 会場参加、リモート参加両方を望む声が多い
- ・ ケアキャビネットは職場でしか参加できない。セキュリティが高いので不便、ZOOMの方がやりやすいのでは？
- ・ GWの必要性を感じた

【課題】

- ・ ケアキャビネットは研修会向きではないのか？
- ・ 次年度よりケアキャビネットの有料化に伴い、契約事業所が減る可能性がある
- ・ 講演の中で、認知症サポート医が「グループワークをすることが大切」と言われ、必要性を強く感じた

【対応策】

- ・ 次年度より、ZOOMの利用を検討
- ・ グループワーク実施を検討

令和3年度の研修会は

①参加しやすい研修会を

- ・ケアキャビネットをZOOMに変える
- ・基本的にハイブリッド方式で開催
- ・冬場は新型コロナ、インフルエンザの流行が懸念されるため、研修会の開催日は2年度より前倒しに計画する

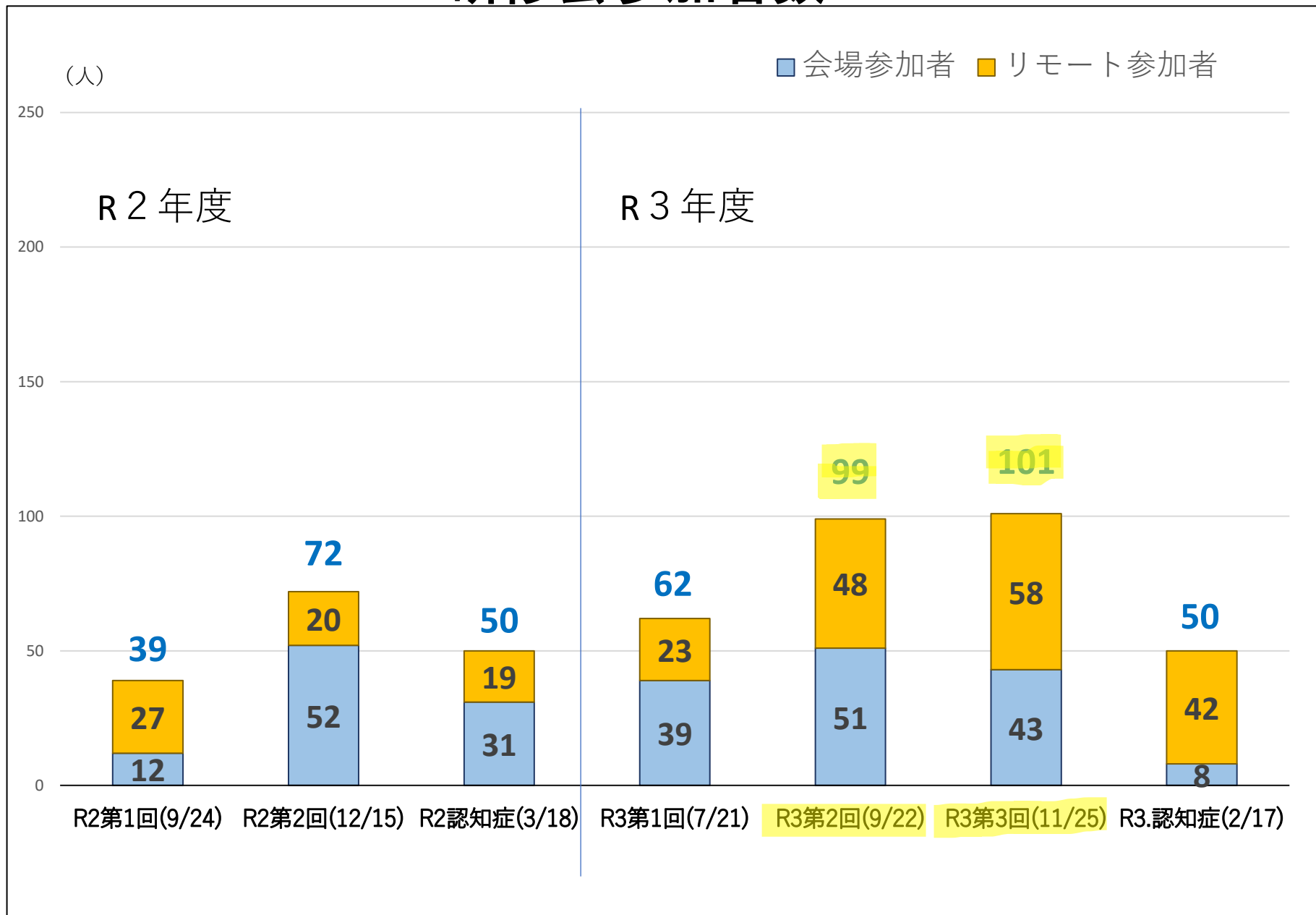
②どの職種も発言できる研修会を

- ・講義形式に偏らず、なるべく参加型の研修内容にする
- ・参加者の意向を聴きながら、感染状況等に合わせて、柔軟に対応し、できるだけグループワークを実施する
- ・多職種小規模リモート会議を工夫しながら継続

令和3年度 多職種連携会議・人材育成研修会研修会

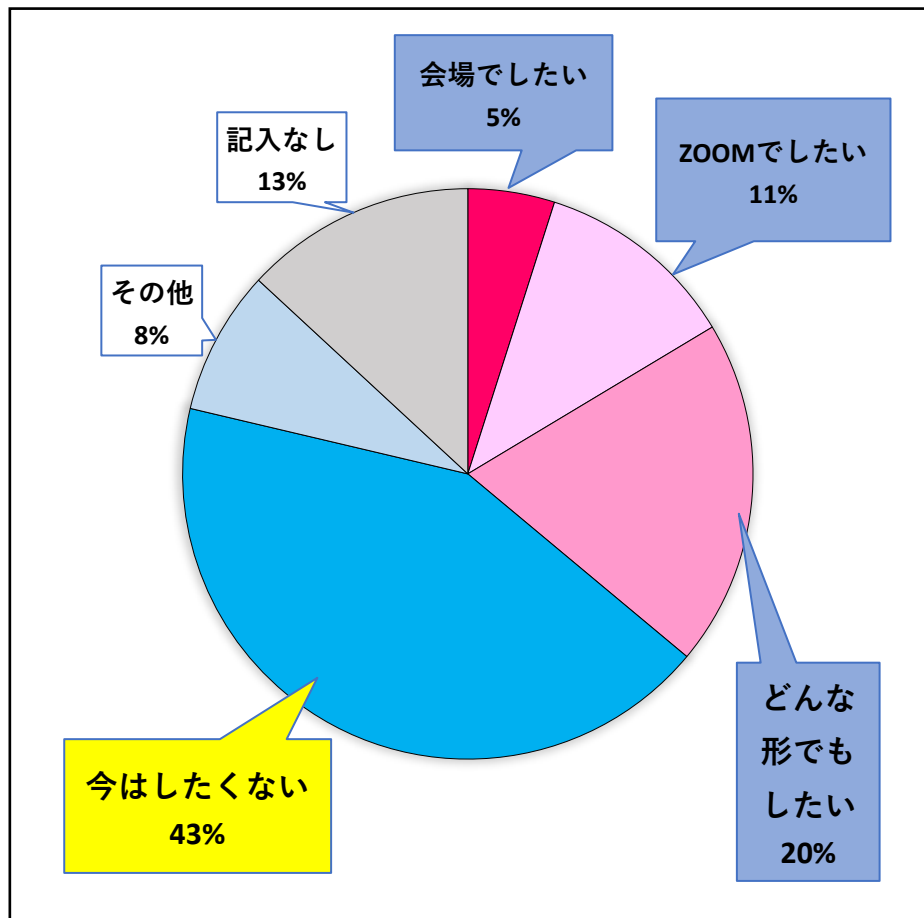
研修会名	開催日	種類	テーマ	講師	開催時間	形態	会場	参加者数
第1回 多職種研修会	7/21	講演 取組紹介	薬剤師と の連携	薬剤師	18:30~ 20:30	ハイブ リッド	2会場+リ モート (ZOOM)	会場48名 リモート23名 計71名
第2回 多職種研修会	9/22	講演	糖尿病 食事療法	医師 管理栄養士	18:30~ 20:30	ハイブ リッド	2会場+リ モート (ZOOM)	会場参加48名 リモート51名 計99名
第3回 多職種研修会	11/25	シンポジ ウム	看取り	医師 訪問看護師 施設職員 介護支援専門員	18:30~ 20:30	ハイブ リッド	2会場+リ モート (ZOOM)	会場44名 リモート59名 計103名

研修会参加者数



令和3年度 第2回多職種研修会の研修後アンケートより

Q.研修会でのGWについてどう考えるか



第2回アンケート回答者数64人（回収率64.6%）

《したくない理由》

- ・コロナ禍にて感染の危険があるので、時期尚早と思う
- ・ハイブリッドでGWをするのは難しいと思う など

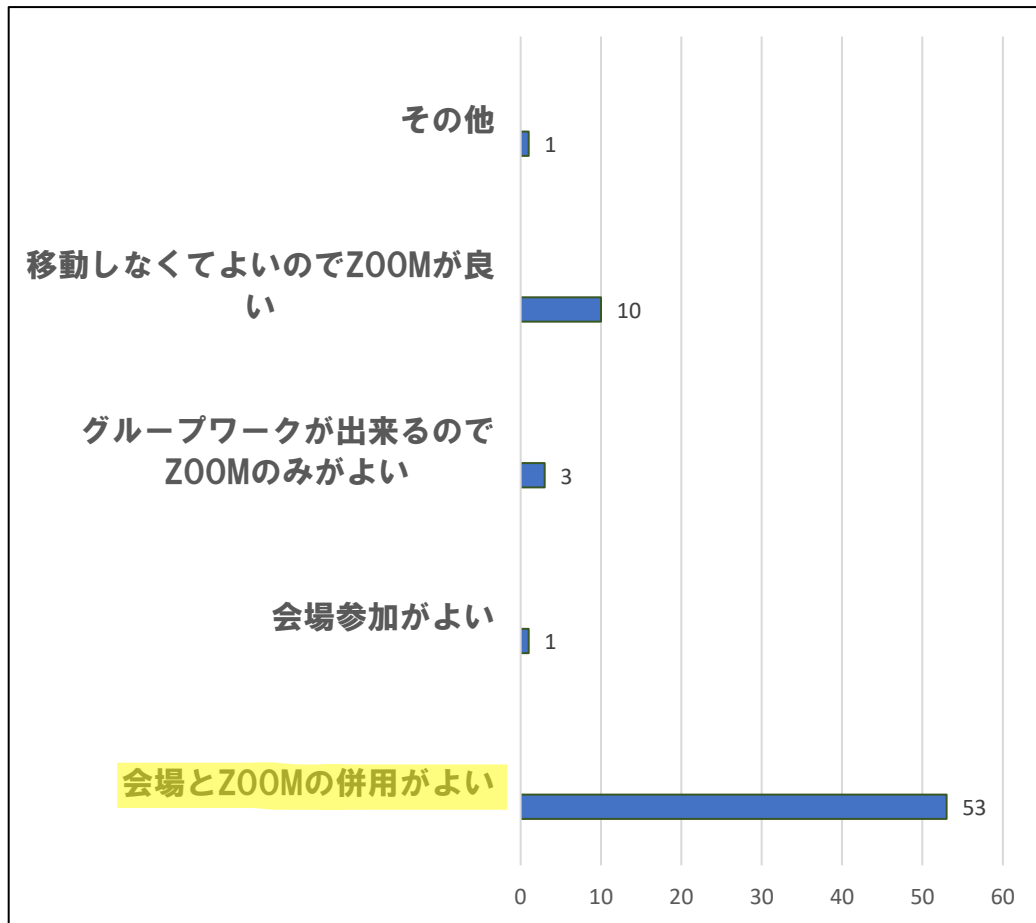
《したい理由》

- ・顔を見ながら話がしたい
- ・GWをすると話をよく聞くことができ、発言も聞いてもらえる など

コロナ禍の現在でも、研修会でのGWを希望している人は少なくない
新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、臨機応変に実施していくことが必要と考える

令和3年度 第2回多職種研修会の研修後アンケートより

Q.今後の研修の形態についてどう考えるか（複数回答可）



第3回アンケート回答者数56人（回収率60.4%）

《コメントより》

- ・自分はZOOMがよいが、機器のない人もいるので、会場参加も必要
- ・市内は広く、会場まで遠い人も多い。両方だと助かる。
- ・会場だと他の人と話ができるのでいい。両方にしてほしい
- ・仕事が遅くまであるので、今まで参加できなかったが、ZOOMになって移動しなくてもよいので、参加できるようになった

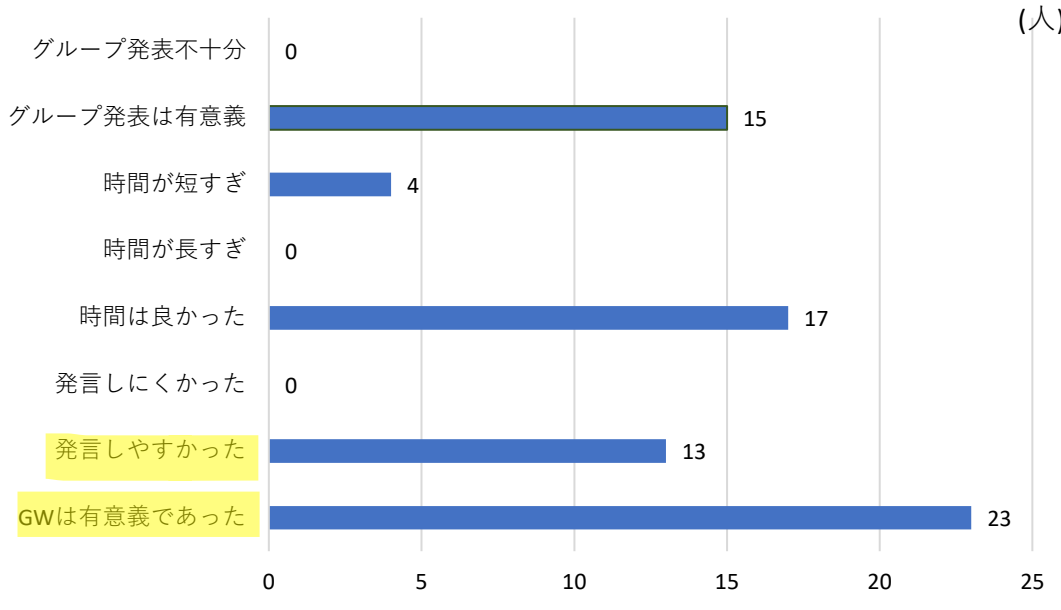
コロナ禍の今、多くの人に安全に参加してもらうためにも、ハイブリッド方式が適しているが、上記の理由から、コロナが落ち着いた後もハイブリッド方式の研修会は有効と考える

令和3年度 認知症研修会

開催日	種類	テーマ	講師	開催時間	形態	会場	参加者数
2/17	グループワーク	事例を元にGW	事例提供:介護支援専門員2名	18:30～20:30	リモートのみ	本部会場+リモート(ZOOM)ブレイクアウトルーム利用	本部会場8名(事例提供者とスタッフ)リモート42名計50名

認知症研修会の研修後アンケートより

グループワークの感想 (複数回答可)



アンケート回答者数27人 (回収率54%)

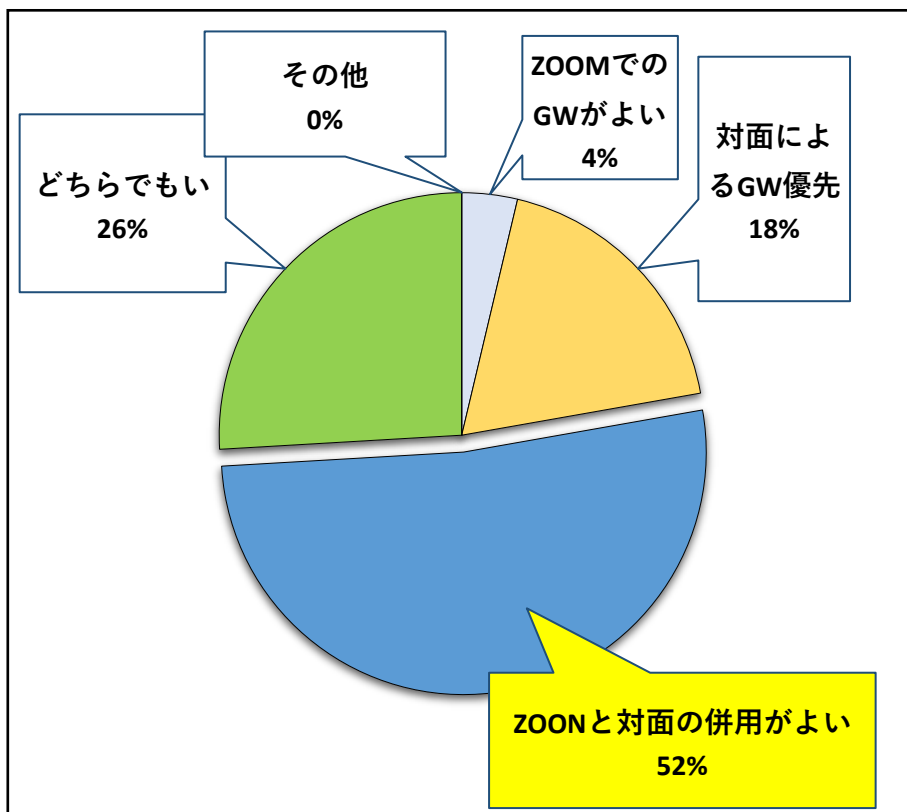
《コメントより》

- ・今後もグループワーク等で直接、話をして関わる機会があればいいなと思いました
- ・多職種の意見が聴けて、色々な視点を持つことができて良かったです
- ・久々にGWができて参加して良かったです。話を聞いてもらってうれしかったです。これからは是非GWをしてほしいです など

GWをすることで、多職種の意見が聴け、新たな視点を持つことができ、自分の思いを表現する機会となる。
研修会でGWをすることは有意義であると言える

認知症研修会の研修後アンケートより

Q.コロナが落ち着いている時期のグループワークの方法はどうすればよいか



アンケート回答者数27人（回収率54%）

《コメントより》

- ・今回ZOOMでのGWをしてとても満足しているが、機器が用意できない環境にいる人や手技に自信がない人など対面で参加したい人もいたので併用がよいと思う
- ・GWはZOOMと対面の併用は難しいです。ZOOMの人は置いて行かれます など

GWをする研修会も、ハイブリッド方式での開催を希望する人が多く、「対面とリモートの併用でのGWは難しい」と言われているが、望む声が多いのでZOOMの人が置き去りにならない方法で計画・実施していく

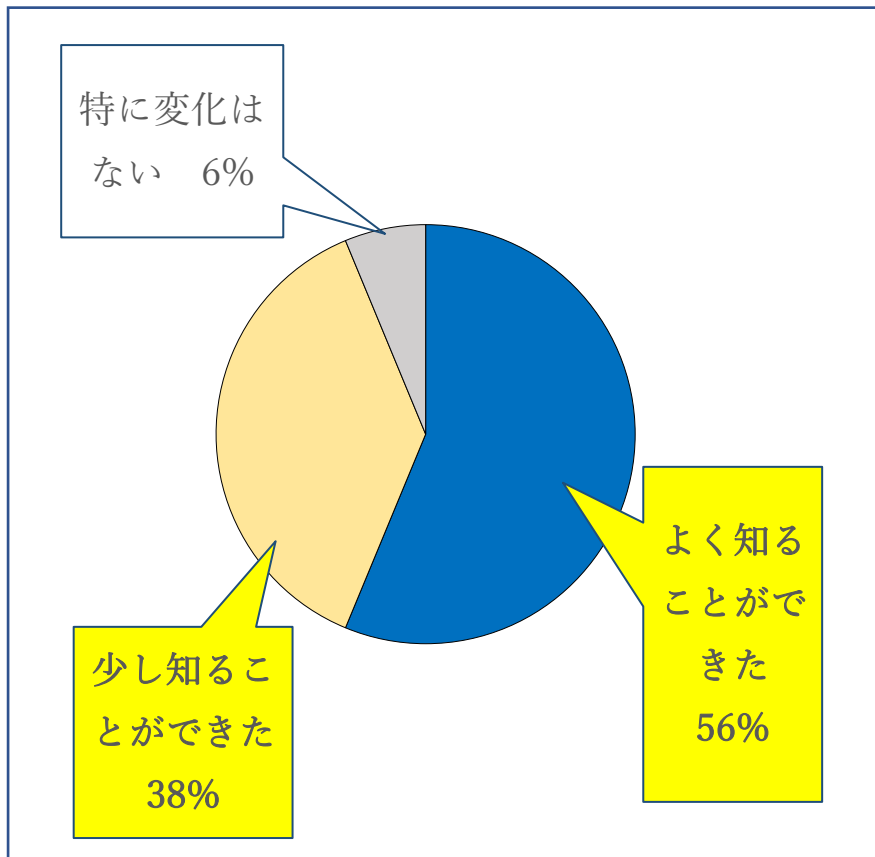
令和3年度 多職種小規模リモート研修

研修会名	開催日	種類	テーマ	開催時間	形態	参加者数	案内状送付	参加職種
第1回 小規模	8/20	ディスカッション	防災対策	17:45～ 18:45	リモートのみ (ケアキャビ)	5事業所 8名	ケアキャビ 契約している事業所(18)	MSW 病院職員 保健師 通所介護職員 訪問介護職員 介護支援専門員
第2回 小規模	10/28	講義	ケアキャビネット 説明会	17:45～ 18:45	リモートのみ (ケアキャビ)	4事業所 8名	ケアキャビ 契約している事業所(18)	保健師 介護支援専門員
第3回 小規模	3/10	ディスカッション	コロナ禍での入退院 時等の連携	17:45～ 18:45	リモートのみ (ZOOM)	11事業所 19名	全ての事業所 (135)	保健師 看護師 社会福祉士 MSW 薬剤師 理学療法士 介護支援専門員

第3回 多職種小規模リモート研修後アンケートより

アンケート回答者数16人（回収率84%）

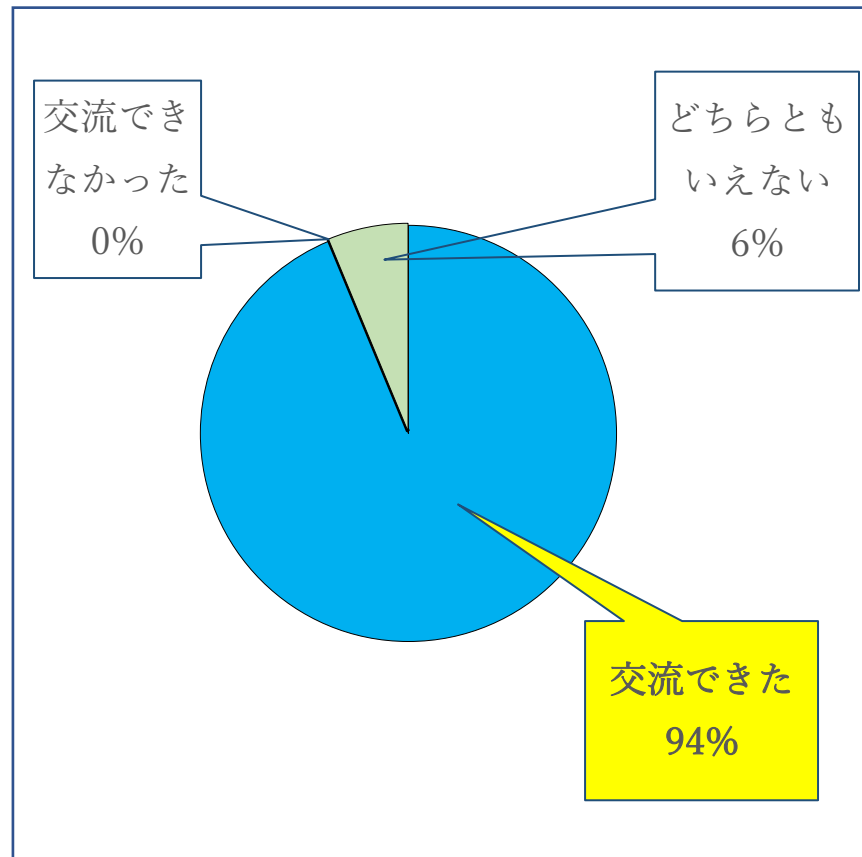
Q.この研修に参加して、他の参加者（他職種）のことを知ることができたか？



・他の職種の思い、苦労していること、頑張っていることなどを知ることができ、今後の連携につながると思う など

小規模な研修会は、発言しあうことによりお互いを知ることができる

Q.この研修に参加して、他の参加者（他職種）と交流ができたと思うか？



・少人数なので話しやすかった。顔がしっかり見れた。初対面の人もいたが、話せてよかった。短時間でも交流できたと感じた など

顔の見える小規模な研修でディスカッションすることで、他(多)職種と交流することができる

まとめ

- ・ 新型コロナの感染状況に合わせて、参加者の意見を聴きながら、臨機応変に研修会の企画・運営をしていくことが必要である
- ・ 大規模な研修会だけでなく、小規模な研修会も開催することで、他(多)職種のことを知ることができ、顔の見える関係づくりにつながる
- ・ コロナ禍でもグループワークをすることで、研修が有意義なものとなり、多職種連携につながる
- ・ コロナが落ち着いても、ハイブリッド方式の研修会は時間の効率化、参加の容易さ等において有効である

今後の課題

- ・ 研修の内容、テーマの設定についても振り返り、検討する必要がある
- ・ ハイブリッド方式の研修会でのグループワークを計画・実施していく



ご清聴ありがとうございました

